



2019年4月25日
東日本旅客鉄道株式会社

2019年度設備投資計画について

JR東日本では、2019年度の設備投資計画を策定しましたので、お知らせします。

グループ経営ビジョン「変革2027」の実現に向けて、安全・安定輸送のレベルアップのための維持更新投資、収益力の向上につながるメリハリをつけた成長投資、業務改革や働き方改革に資する重点投資を着実かつ機動的に進めてまいります。

設備投資額は、連結では2018年度実績比約1,380億円増の7,680億円、単体では2018年度実績比約1,040億円増の6,130億円を計画しています。

○主な設備投資の内容

- 駅ホームの安全性向上に向けホームドア整備を進め、山手線では新橋駅・浜松町駅、京浜東北線では川口駅・横浜駅・新橋駅・蕨駅等において使用開始します。なお、蕨駅には「スマートホームドア[®]」^{*1}を導入します。
^{*1} 「スマートホームドア[®]」は、JR東日本メカトロニクス㈱の登録商標です。
- 大規模地震対策や踏切事故対策等の安全対策を着実に進めるとともに、老朽設備の更新や首都圏における電気設備の強化等の安定輸送対策も確実に実施していきます。
- 車内防犯カメラの設置拡大や侵入防止柵の整備等、駅・列車内・車両留置箇所・電気関係設備・線路沿線等の鉄道セキュリティ向上の取組みを継続して推進します。
- E7系新幹線車両を引き続き上越新幹線に投入するほか、地方エリアへGV-E400系電気式気動車車両を投入します。また、バス車両の新造も行います。
- 線路モニタリングシステム等、技術革新に積極的に取り組み、業務革新を実現することで生産性向上や働き方改革を目指します。
- 東京2020オリンピック・パラリンピック開催に向け、競技会場周辺駅を中心にエレベータ、トイレ、案内表示等の駅設備の改良を進めます。
- 東日本大震災により被災した常磐線の不通区間について、2019年度末までの運転再開に向けた工事を引き続き実施します。

- 高輪ゲートウェイ駅の開業（2020 年春）に向け着実に工事を進めるとともに、品川駅・渋谷駅・横浜駅・東京駅等の大規模ターミナル駅開発や WATERS takeshiba 開発等の大規模複合型まちづくり計画を進めます。
- 仙台駅東口オフィス開発や新潟駅高架下開発、地域連携 IC カードの開発等、地方中核都市の魅力づくりや地域交通機関への IC カード導入拡大に向けた準備を進めます。
- 「ホテルメトロポリタン 鎌倉（2020 年 3 月開業）」や「JR 東日本ホテルメッツ 秋葉原（2019 年 10 月開業）」、「JR 東日本ホテルメッツ 東京ベイ新木場（2019 年 11 月開業）」のほか、子育て支援施設の展開、駅ビル・エキナカ店舗のリニューアル等を推進し、沿線価値の向上を目指します。
- 相鉄・JR 直通線の開業（2019 年 11 月 30 日）に向けて着実に工事を進めるほか、伊豆エリアへ新たな観光特急車両を投入（2020 年春）し、お客さまの利便性向上と沿線価値の向上を目指します。
- シームレスに移動できる次世代移動サービス MaaS の実現に向け、JR 東日本アプリによる情報提供の充実を図るとともに、Ringo Pass^{※2}・観光型 MaaS などの実証実験を進めていきます。
※2 Ringo Pass は、Suica やクレジットカードを登録し、二次交通の決済や利用者の認証に使うことができる実証実験中のアプリです。
- 女性社員の活躍フィールドを拡大するための設備を引き続き整備するとともに、職場環境の改善や寮整備等を進めることで社員の働きがいを向上させ、業務改革を推進します。

○設備投資額

2019 年度 設備投資額(連結) (単位:億円)

	2019 年度計画	2018 年度実績
輸送サービス	5,150	4,323
生活サービス IT・Suica サービス	2,530	1,976
合 計	7,680	6,299

2019 年度 設備投資額(単体) (単位:億円)

	2019 年度計画	2018 年度実績
合 計	6,130	5,094

「究極の安全」の追求・リスクマネジメント・コンプライアンス徹底

- ・車両新造(GV-E400系等)
- ・大規模地震対策
- ・ホーム安全設備整備(ホームドア等)
- ・踏切安全対策
- ・線路モニタリングシステム
- ・電気部門のスマートメンテナンス
- ・新幹線教育訓練設備整備
- ・セキュリティ対策
- ・バス車両新造[ジェイアールバス関東(株)]

サービス品質改革

- ・東京2020オリンピック・パラリンピック競技会場
周辺駅改良
- ・駅設備整備(エレベータ・トイレ・案内表示)
- ・首都圏電気設備強化

地域社会への貢献

- ・沿岸被災線区復旧
- ・駅自由通路・橋上化整備

地球温暖化防止・エネルギー多様化

- ・エコステモデル駅整備
- ・発電所設備更新
- ・照明LED化



車両新造(GV-E400系)



ホームドア整備



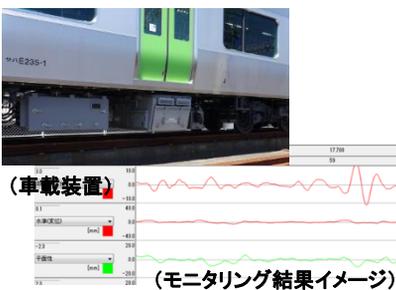
東京2020オリンピック・パラリンピック
競技会場周辺駅改良(千駄ヶ谷駅)



沿岸被災線区復旧(常磐線)



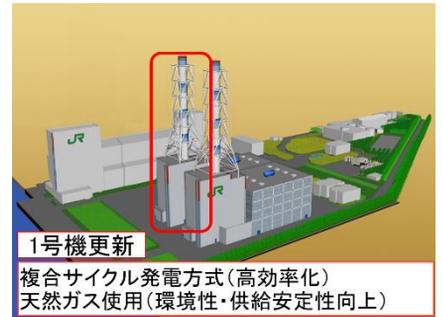
駅橋上化(羽鳥駅)



線路モニタリングシステム



エコステモデル駅整備(野辺山駅)



発電所設備更新(川崎火力発電所)



新幹線教育訓練設備整備



バス車両新造
[ジェイアールバス関東(株)]



大規模地震対策

くらしづくり・まちづくり

- ・品川開発プロジェクト(第I期)
- ・高輪ゲートウェイ駅整備
- ・WATERS takeshiba開発
- ・JR横浜タワー・JR横浜鶴屋町ビル
- ・仙台駅東口オフィス開発
- ・新潟駅高架下開発
- ・JR秋田ゲートアリーナ(仮称)
- ・ホテルメトロポリタン 鎌倉[日本ホテル(株)]

「シームレスな移動」の実現

- ・相鉄・JR直通線整備
- ・羽田空港アクセス線(仮称)
- ・中央快速線グリーン車整備

輸送サービス変革・

- 観光振興・地域産業活性化
- ・観光特急車両新造(伊豆エリア)

Suicaの共通基盤化

- ・新幹線IC乗車サービス
- ・地域連携ICカード

データ分析等による新たなサービス提供

- ・MaaS
- ・JR東日本アプリ
- ・えきねっとシステム更新
[株]JR東日本情報システム]



高輪ゲートウェイ駅整備



相鉄・JR直通線整備



観光特急車両新造



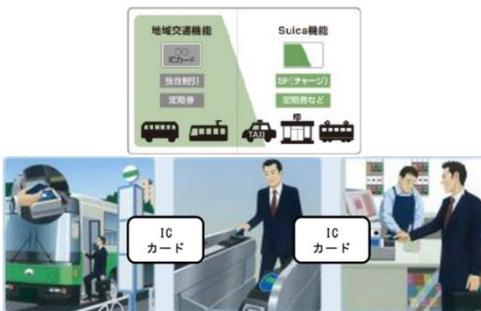
WATERS takeshiba開発



仙台駅東口オフィス開発



MaaS



地域連携ICカード



新潟駅高架下開発



ホテルメトロポリタン 鎌倉
[日本ホテル(株)]

社員・家族の幸福

仕事の高度化・活躍フィールドの拡大・お客さまのより近くでの創意工夫

- ・職場環境整備
- ・女性社員設備整備
- ・乗務員区所再編
- ・支社ビル・寮整備



乗務員区所再編



寮整備